

昨日福岡大学との激戦を制し、見事ベスト 8 を決めた関西外国語大学と昨年度のリベンジを果たすため順調に駒を進める大阪体育大学との一戦。前半、関外大は攻めの姿勢を見せ、大体大本来のゲーム展開を阻止する。途中点差を 10 で留め、必死に大体大に喰らい付く。しかし、関西の王者がここで黙るわけにはいかない。大体大 #5 奥原の連続のシュートが決まれば流れは一気に大体大へ。その後もメンバーの入れ替えを繰り返しながら安定したゲーム展開を見せ、大体大が順調にベスト 4 へと駒を進めた。

第 1Q、開始直後大体大 #4 唐津の 3P で先制点を挙げる。関外大は #12 国吉、#7 木原の力強いディフェンス、リバウンドで OF チャンスを増やし、着実に得点を重ねる。中盤、大体大 #4 唐津のスティールからのアーリー OF でリードを広げ、試合の主導権を握る。すかさず関外大はタイムアウト請求。関外大は得意の強い、速い DF が機能し点差を 10 点に留める。25-15 で大体大リードで第 1 ピリオド終了。

第 2Q、#5 奥原の安定したシュート力で点差を 17 まで広げる。関外大のシュートがゴールに嫌われ、得点が止まる。しかし、#16 刑部の 3P をはじめ、1on1 からシュートを沈め、開いた点差を縮めようと必死に喰らい付く。終盤、大体大のシュートが当たりだし点差は一気に 31 点差まで広がる。関外大にとっては厳しい点差となり、55-24 で前半を折り返す。

第 3Q、序盤両チームともシュートを放つもののゴールに嫌われ、得点の入らない均衡状態が続く。中盤、関外大のミスが続く、得点が完全に止まってしまう。大体大は関西王者の実力を見せつけ堅い守りで相手に OF のチャンスを全く与えない。第 3 ピリオド 4 点の加点のみで関外大にとっては苦しい展開。74-28 で第 3 ピリオド終了。

第 4Q、大体大はメンバー総入れ替えで試合に臨む。関外大は少しでも点差を縮めるため、#16 刑部、#6 田中を中心に 1on1 を仕掛けるがシュートまでつなげることができない。対する大体大はメンバーを落とした状態でも攻撃の質は全く劣らず、#7 太田を中心に得点を重ねる。一時は 10 だった点差も最後は 42 まで広げ、95-53 で試合終了。

記入者：脇坂 里菜